

## 今回のGIGAスクール通信では…

高学年ではもう使い始めているけれども、低学年の活用が難しいというご質問をいただくことが多くなっています。

今回は、低学年でも活用できそうな事例や最初の導入授業についてご紹介いたします。



## キーボードをなるべく使わない活用

低学年の活用ではキーボードを打てないということが壁となることが多くあります。そこで、キーボードをあまり使わずに活用できる機能をご紹介します。

### カメラ機能

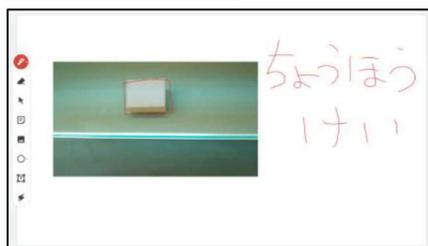


カメラ機能を使うと、自分の様子や身の回りのものを写真や動画として確認、保存することができます。

写真を開いた時に編集ボタンを押すと、手書きでメモを書いたり、飾りをつけることもできます。

また、オフラインでも動作するので外で使うことも可能です。

### Jamboard



Jamboardにはペンで自由に書き込むことができる機能が付いています。写真の上にメモを書いたり、気づいたことを共有するという授業を行えます。

### 手書き入力、音声入力



タブレットモード(キーボードを回転させて折りたたんだ状態)にするか、設定からユーザー補助ツールの画面キーボードをオンにすると、画面右下にキーボードのアイコンが表示されます。入力時に画面にキーボードが表示される機能ですが、手書き入力や音声入力を行うこともできます。

## 低学年はじめての一步

低学年での最初の授業はどうしたらいいの？という声にお応えします。

### 導入

端末を活用する意義と活用するための約束事を話し合い、又は伝えましょう。  
やってはいけないことと一緒に使うと良いことがたくさんあることを理解させます。

#### 端末を上手に活用することで…

- インターネットで色々なものを調べられるよ。
- カメラで撮影することもできるね。
- 友達と一緒に勉強することも簡単になるかも。
- 先生からお知らせが届いたりもするよ。



#### 上手に使うためには…

- 勉強のためのものなんだね。
- 大切に扱わないと壊れてしまうね。
  - ➔ ×落とさない ×水に濡らさない ×ぶつけない ×押さえない
- 先生の話の聞かないとやり方がわからなくなるね。
  - ➔ 先生が説明している時は話さない。質問がある時は静かに手を挙げる。
- 使う前に手を洗おう、決まった場所にしまおう 等



中学年以上であれば、話し合っ自分たちでルールを決めることも効果的です。  
低学年では、まだ少し難しい場合が多いため、守って欲しいことは最初に伝えましょう。

### 端末の配布



端末を配布する時は、保管庫からの取り出し方の練習も兼ねて少人数ずつ保管庫に集まって持っていくことがおすすめです。充電ケーブルを無理に引っ張ったりせずに、優しく扱うよう指導してください。

### 電源オン、ログイン

Chromebookはフタを開くだけで電源が付きます。ログインはQRコードで行います。カメラに向かってQRコードが読み込めるよう練習してみましょう。

また、QRコードはどのように管理するかは、学校で決めておく必要があります。児童・生徒の名札の裏に入れておく、小さなポケットがついたウォールポケットに収納しておくなどの事例があります。児童・生徒の様子を見ながら無理のない管理方法を考えましょう。



QRコードは家の鍵と同様に無くすと他の人に不正に使われることもありますし、家(タブレット)に入ることができなくなります。きちんと管理することを指導しましょう。

## 低学年はじめての一步

### 実践例①～Classroom～

休校なども見据えると、早めに覚えて欲しいのはClassroomを使った交流です。まずは、ストリームに返信する練習をしてみましょう。

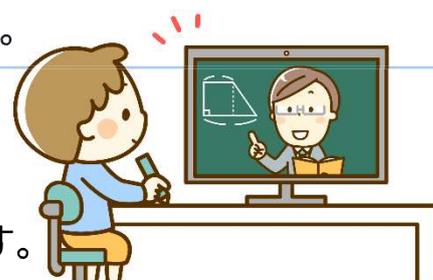
- ① クラスへの参加方法の確認
  - ➡ 自分のクラスを選びます。
- ② 最初に先生が児童に投稿します。
- ③ 次に先生の投稿に児童が返信します。
  - ➡ キーボード入力が難しい場合は、絵文字での入力や写真を撮影して貼り付けなど工夫しましょう。



### 実践例②～Classroom～

Classroomから、ビデオ通話(Meet)をしてみましょう。

- ① クラスへの参加方法の確認
  - ➡ 自分のクラスを選びます。
- ② 先生はクラスにMeetのリンクを作成しておきます。先に先生がMeetのリンクからビデオ通話に参加します。
- ③ 児童もビデオ通話に参加します。
  - ➡ ・参加時は必ずマイクをオフにしましょう。
  - ・この時、児童の1人の画面を大型提示装置に映すなどすると説明がしやすくなります。



- ※ 同じ教室内にいと、マイクを使うことができません。先生が離れた場所に移動して、話しかけたりじゃんけんなどすると児童が盛り上がりやすくなります。
- ※ 手を挙げる、チャットなどの機能も試してみましょう。

### 実践例③～写真でお絵描き～

写真を撮影してお絵描きしてみましょう。

- ① カメラアプリを使用して、自分の写真や教室内の写真を撮影します。撮影した写真はの中のファイルアプリのマイファイルの中の「ダウンロード」フォルダか「カメラ」フォルダに保存されます。
  - ② 写真をダブルクリックして上部の「メモを追加」をクリックすると写真の上に自由に書き込むことができます。
  - ③ 右上の「完了」ボタンを押してから「保存」ボタンをクリックすると保存されます。
- ※ マイファイルから共有ドライブへの保存方法や、Classroomのストリームへの投稿ができるようになると、今後の授業でも使いやすくなります。
  - ※ マイファイルに保存された写真は、端末の容量がいっぱいにならないよう適宜消すようにしてください。



## 低学年はじめての一步

### 電源オフ

練習が終わったら、電源を切ります。

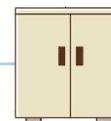
- ① シャットダウンの方法を確認します。  
➡ 画面が暗くなったことを確認してフタを閉じます。
- ② 電源が早く切れたら、端末を閉じて静かに待ちます。



### 保管庫にしまう

使い終わったら保管庫にしまします。

- 保管庫へは一度に全員がしまうことはできません。順番に並んでしましましょう。
- 充電ケーブルがしっかりとささっていないと充電することができません。必ず充電ケーブルがささったか確認しましょう。



### 初回のポイント

- はじめて端末を触る時は、児童もとても楽しみにしています。ワクワク感を大切にしながら、「授業」だということも理解してもらうように気をつけましょう。
- 低学年はログイン時に時間がかかることが多くあります。可能であれば、支援員のいる時に行く、空いている先生に手伝ってもらうなどができると、少し楽に進めることができます。
- 今後の授業で必要だと思われるスキルを優先的につけていきましょう。Classroomの扱いを早めに覚えておくと、低学年でも授業の幅を広げることができるようになります。
- 質問は静かに手を挙げる、又は友達に聞くなどのルールを作っておくことは、今後の授業展開でも楽になる方法です。一斉に先生を呼ぶということがないように先手を打っておきましょう。



「低学年はキーボードが打てない」「低学年に説明をするのは大変」  
このように考えていませんか？もちろん、高学年や大人ならできることが低学年では難しいこともあります。しかし、ちょっとした工夫を入れることで、低学年でもわかりやすくなります。また、児童は大人よりも覚えは早いので、操作もどんどん覚えていってくれます。初回を乗り切って、低学年からタブレットを活用してみましよう！